

## 第4章 消費者向けアンケート調査

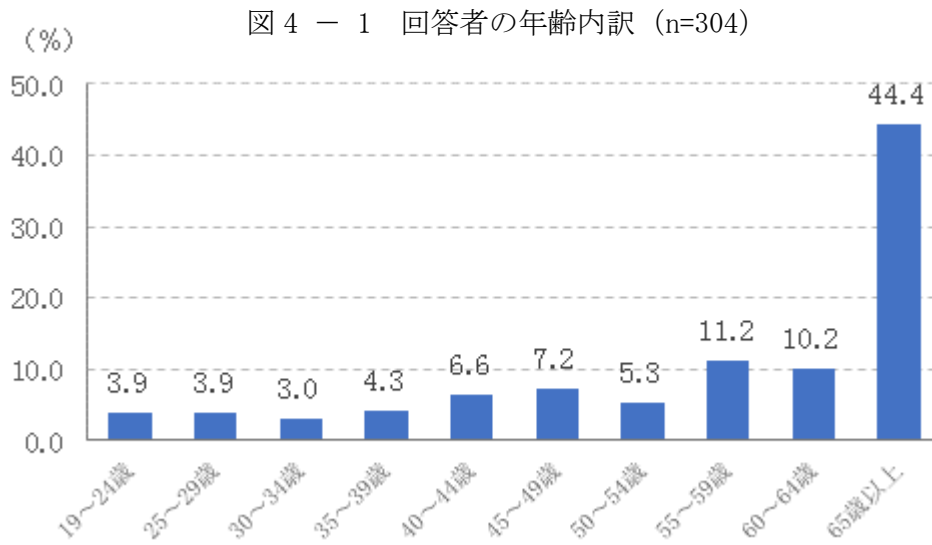
### 1. 調査の概要

本調査は市内19歳から80歳までの無作為に抽出した962人を対象に別添の調査票を送付し、322人から回答を得た。回答者の属性は以下の通り。なお、回答者のうち無効回答は総数に含めていない。調査は2020年12月に実施した。

### 2. 集計結果

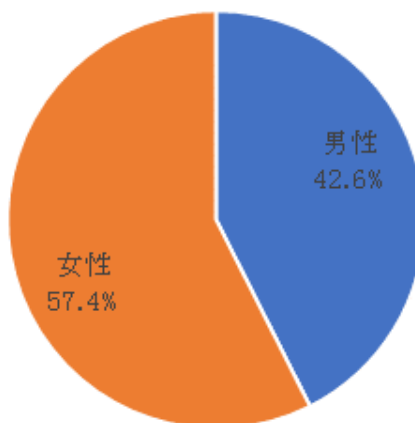
#### (1) 回答者の属性

年齢別の内訳では60歳以上が54.6%半数を超え、特に65歳以上が全体の44.4%を占めている(図4-1)。なお、2015年国勢調査から新見市内の15歳以上の人口を基に人口割合を算出すると、60歳以上の割合は52.8%、65歳以上の割合は43.7%であり概ね同じ水準。



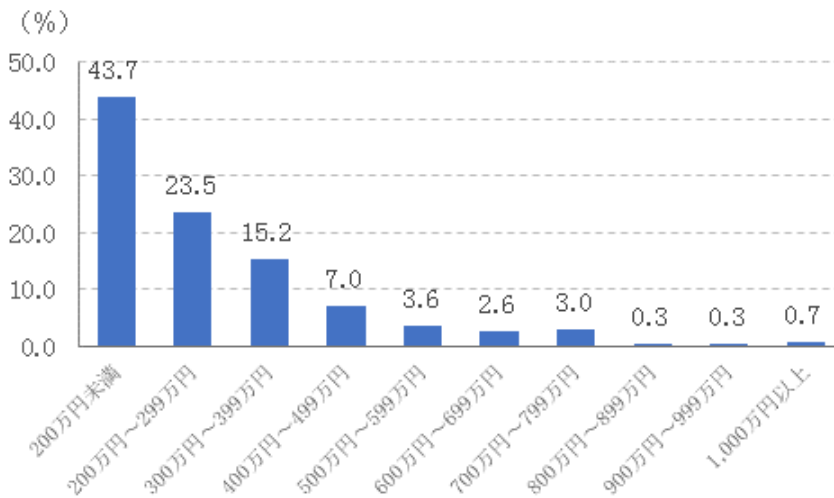
男女別で見ると、女性が57.4%で男性の42.6%を上回っている。(図4-2)。

図4-2 男女別回答者の内訳 (n=296)



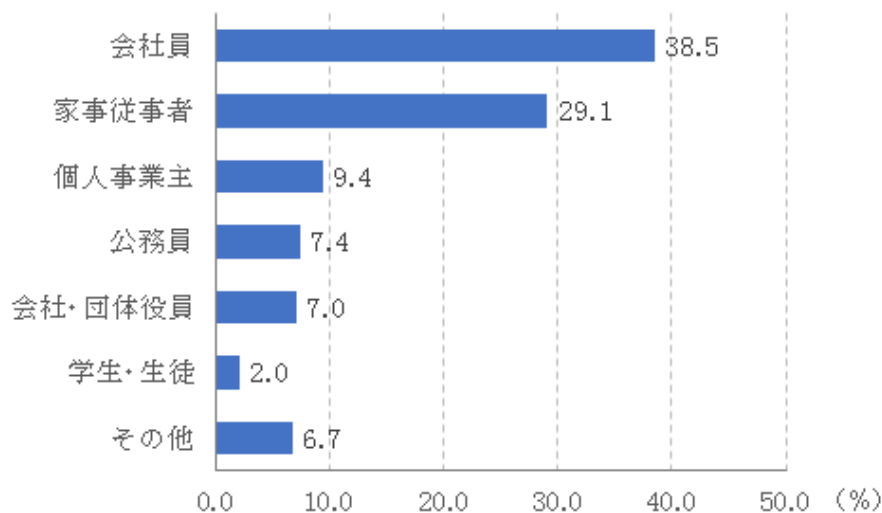
年収別の内訳をみると、200万円未満が43.7%で最も多く、400万円未満が8割以上を占めている（図4-3）。また、概ね年収が増加するごとに割合が低下している。

図4-3 年収別回答者の内訳（n=302）



職業別の内訳をみると、会社員が38.5%でもっとも多く、家事従事者が29.1で続いた。この2つの職業で全体の7割近くを占めている（図4-4）。

図4-4 職業別回答者の内訳（n=299）

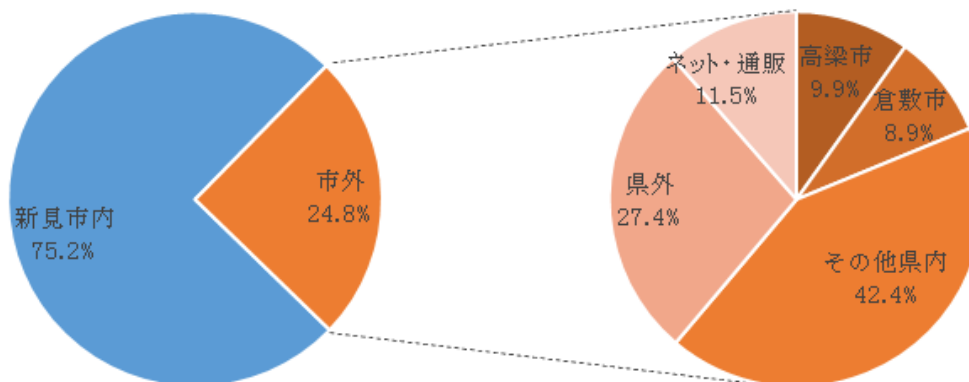


職業の回答として「その他（無職の主婦・主夫）、（年金生活の主婦・主夫）」といった「家事従業者」振り分けるべきものがあった。しかし、これらの回答と、単純な「無職」「年金受給者」といった回答の線引きは難しい。また、「無職」「年金受給者」はいずれも家庭内にいる時間が長く、何らかの形で家事に従事していると推察される点から、「その他（無職）」「その他（年金受給者）」という回答はいずれも「家事従事者」に振り分けている。なお、その他は「農業」が多くを占めている。

## (2) 各項目別消費の地域別割合

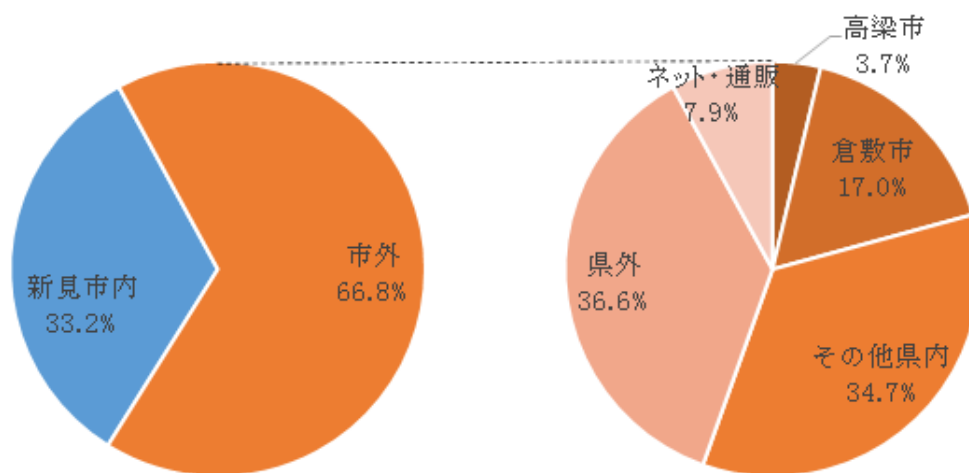
食費は市内消費が75.2%で市外は24.8%と、市内での消費が市外を50ポイント以上上回った(図4-5)。市外の内訳を見ると、隣接している高梁市での消費は10%未満で、県外やその他県内が多い。大消費地である岡山市の他、東城町や真庭市が多いものと考えられる。

図4-5 食費の地域別割合 (n=298)



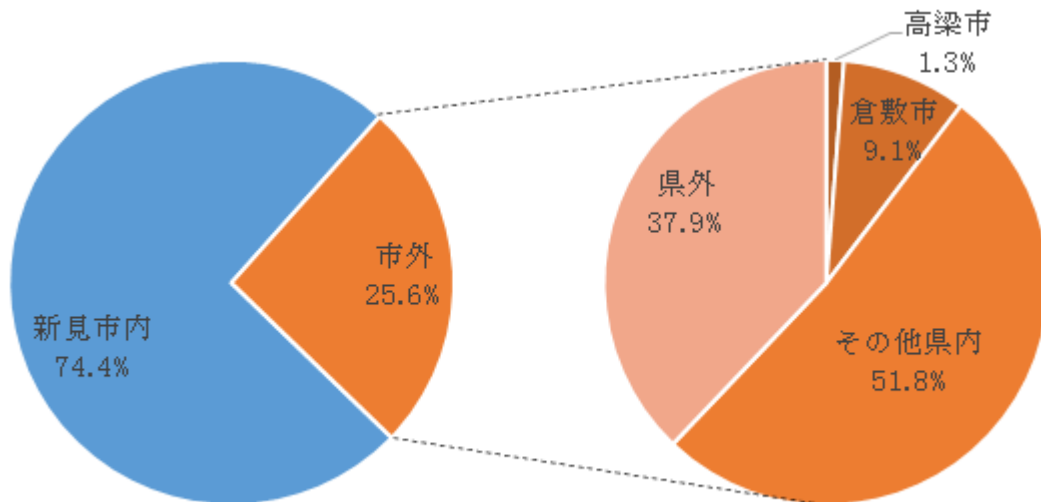
娯楽費は市内消費が33.2%で市外は66.8%と、半数以上が市外での消費となっている(図4-6)。市外の内訳をみると、県外・その他県内・倉敷市が9割程度を占めており、岡山市、倉敷市、他県の消費地に流出していると推察される。

図4-6 娯楽費の地域別消費割合 (n=187)



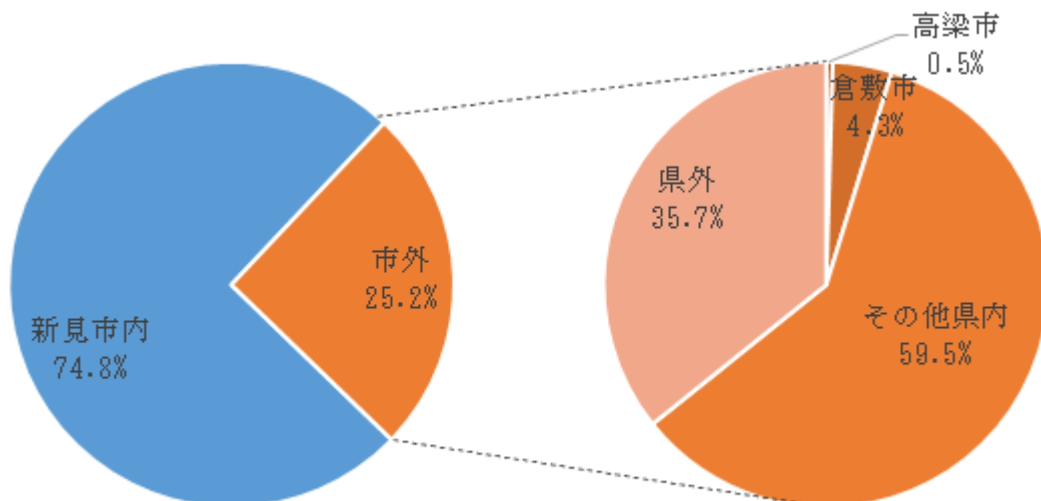
交通費は市内消費が74.4%、市外は25.6%と、市内消費が市外を大幅に上回った（図4-7）。市外の内訳を見ると、高梁市や倉敷市を除くその他県内が半数を超えている。

図4-7 交通費の地域別消費割合 (n=264)



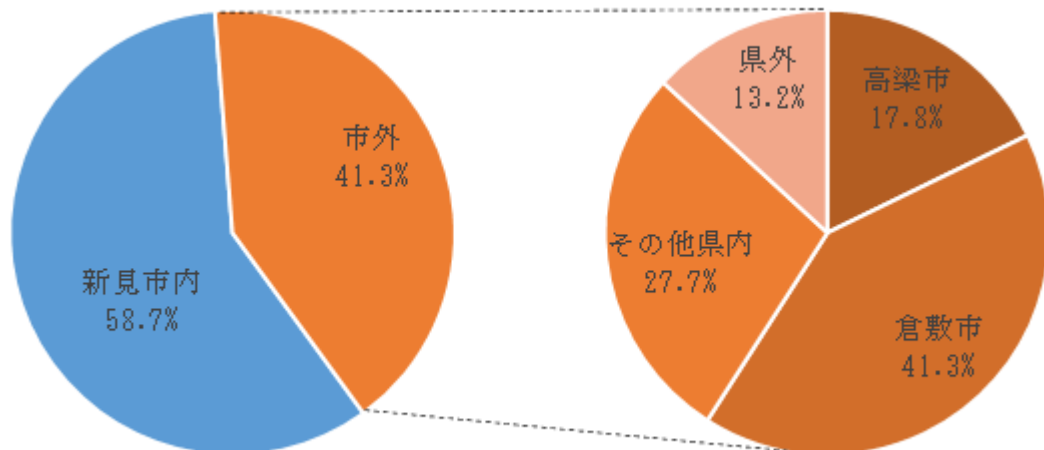
美容費は市内消費が74.8%で市外は25.2%と、市内での消費が大半を占めている（図4-8）。市外の内訳を見ると、県外が35.7%、その他県内が59.5%と交通費の支出先と似た傾向があり、通学・通勤先に隣接した地域で消費している可能性がある。

図4-8 美容費の地域別消費割合 (n=258)



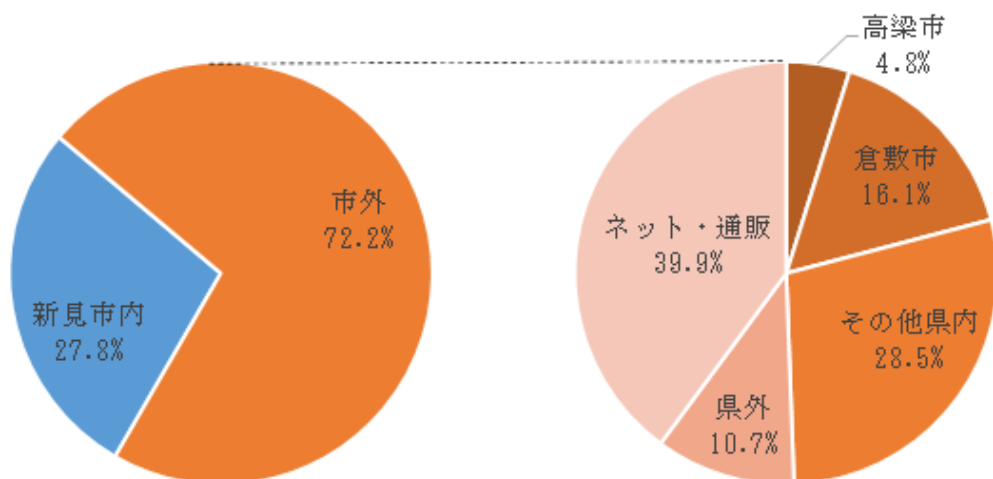
医療費は市内消費が 58.7%、市外消費が 41.8%であった（図 4-9）。市外消費は川崎医療福祉大学付属病院、倉敷中央病院など比較的大きな病院が集中し、かつ岡山市よりも距離的に近い倉敷市が 4 割を超えている。

図 4 - 9 医療費の地域別消費割合 (n=261)



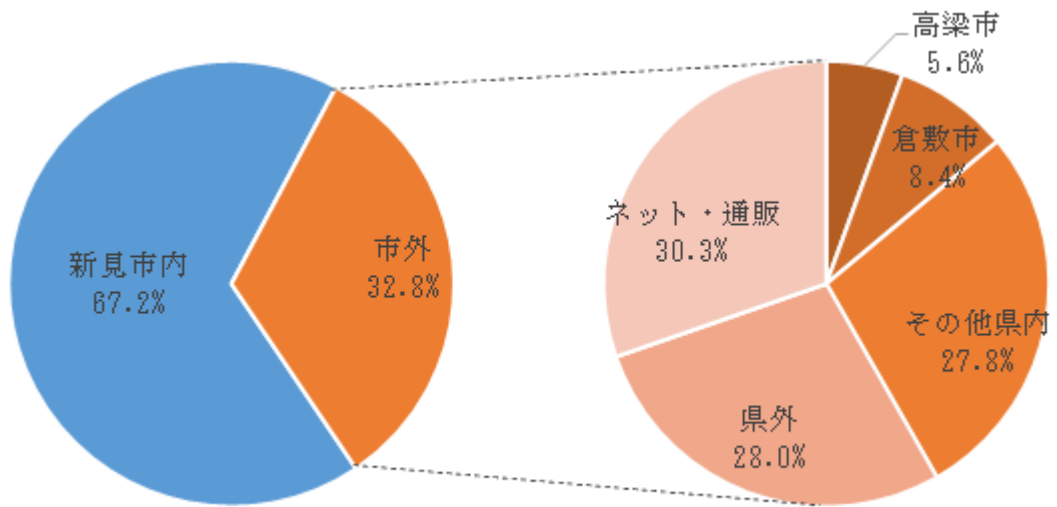
被服費は市内消費が 27.8%、市外消費が 72.2%と、市外での消費が 7 割超を占めている（図 4-10）。特に市外の中でも、ネット・通販が 4 割程度であり、市内消費額も含め全体の 3 割ほどでもっとも多く消費額となっている。

図 4 - 10 被服費の地域別消費割合 (n=258)



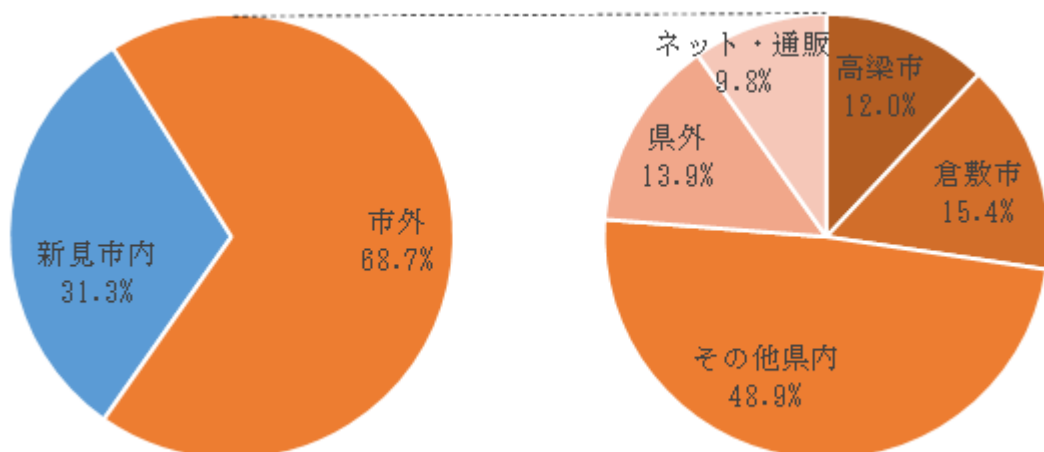
日用雑貨は市内消費が67.2%、市外が32.8%と、市内消費が市外消費を上回っている（図4-11）。一方、市外消費の内訳をみると、ネット・通販、県外が半数を超えている。

図4-11 日用雑貨の地域別消費割合（n=259）



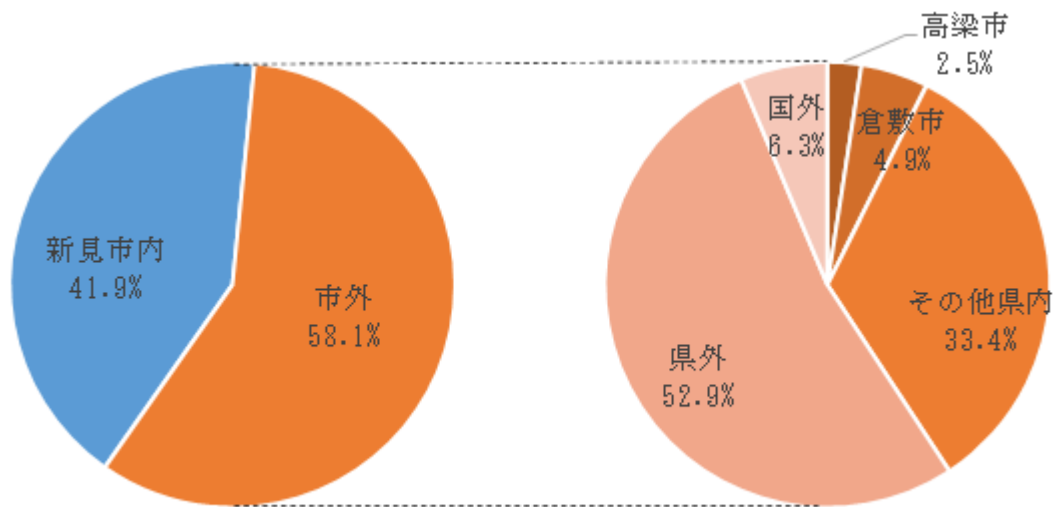
教育費は市内消費が31.3%、市外消費が68.7%と、市外での消費が市内を上回った（図表4-12）。市外の中でも特に、その他県内が半数程度を占めており、市内も含めた教育費全体の中でもっとも大きい。

図4-12 教育費の地域別消費割合（n=114）



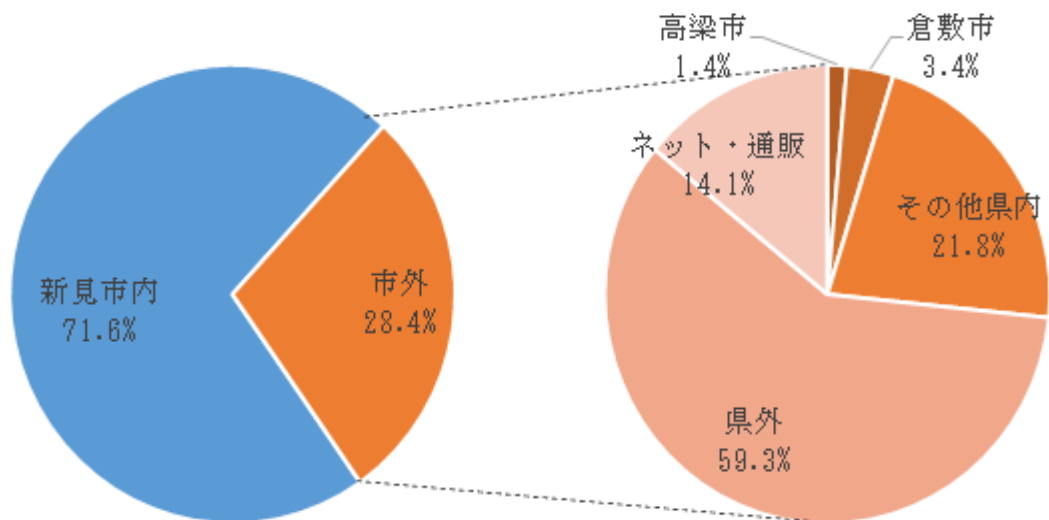
仕送りは市内向けが 41.9%、市外向けが 58.1%であった（図 4-13）。市外の内訳は県外が 52.9%で最も高く、その他県内が 33.4%で続いた。

図 4 - 13 仕送りの地域別消費割合 (n=73)



その他は市内消費が 71.6%で市外消費の 28.4%を大きく上回っている（図 4-14）。市外の内訳は県外が 59.3%で最も高く、その他県内が 21.8%で続いた。

図 4 - 14 その他の地域別消費割合 (n=113)



### (3) 年齢別×各項目別消費の地域別割合

年齢別に食費の地域別割合をみると、全体の食費の市内消費割合が75.2%ある中、24歳以下においては28.9%となっており、極端に低くなっている(表4-1)。(※なお、この傾向は全ての項目に共通している。)その24歳以下の市外の内訳は、その他県内49.5%、県外48.7%と大半を占めている。

表4-1 年齢別食費の地域別消費割合

(%)

	新見市内	市外	高梁市	倉敷市	その他県内	県外	ネット・通販
全体(n=298)	75.2	24.8	9.9	8.9	42.4	27.4	11.5
19～24歳(n=11)	28.9	71.1	1.4	0.0	49.5	48.7	0.5
25～29歳(n=11)	81.9	18.1	5.7	4.5	15.0	38.9	35.8
30～34歳(n=8)	68.3	31.7	0.0	6.2	90.8	0.0	3.1
35～39歳(n=12)	58.7	41.3	17.2	46.7	21.5	8.5	6.2
40～44歳(n=20)	73.1	26.9	10.9	11.8	58.2	14.9	4.1
45～49歳(n=22)	81.7	18.3	5.3	10.5	33.2	16.8	34.1
50～54歳(n=15)	70.3	29.7	4.4	20.4	17.3	55.2	2.7
55～59歳(n=34)	67.4	32.6	9.6	1.6	54.4	22.7	11.6
60～64歳(n=30)	77.1	22.9	16.1	8.2	39.6	21.3	14.9
65歳以上(n=128)	80.5	19.5	11.0	7.1	34.4	35.5	12.0
不明(n=7)	66.9	33.1	9.7	8.4	57.2	13.9	10.8

年齢別に娯楽費の地域別割合をみると、34歳以下の層において市外が90%前後を占めるなど市内外の開きが大きくなっている(表4-2)。一方で、アンケート回答者のマス層である60歳以上は市内外の割合が若干市外に傾きながらも概ね拮抗している。

表4-2 年齢別娯楽費の地域別消費割合

(%)

	新見市内	市外	高梁市	倉敷市	その他県内	県外	ネット・通販
全体(n=187)	33.2	66.8	3.7	17.0	34.7	36.6	7.9
19～24歳(n=6)	1.6	98.4	7.9	7.9	38.1	46.0	0.0
25～29歳(n=3)	13.1	86.9	0.0	32.4	47.5	8.6	11.5
30～34歳(n=6)	6.7	93.3	1.6	39.0	45.5	0.0	14.0
35～39歳(n=10)	38.2	61.8	3.4	10.3	42.8	23.1	20.4
40～44歳(n=13)	23.1	76.9	3.0	22.7	59.1	5.1	10.1
45～49歳(n=18)	43.0	57.0	1.8	52.0	15.3	18.3	12.6
50～54歳(n=7)	32.5	67.5	3.7	1.9	49.1	45.4	0.0
55～59歳(n=23)	16.6	83.4	0.7	2.9	34.2	59.5	2.7
60～64歳(n=23)	42.2	57.8	19.0	24.8	31.1	23.5	1.5
65歳以上(n=71)	48.5	51.5	3.6	8.0	32.6	49.5	6.2
不明(n=7)	32.6	67.4	0.0	37.1	5.3	37.3	20.3



年齢別に交通費の地域別割合をみると、全体としては市内が74.4%で大半を占めている中、19～24歳のみ、市外が市内の消費額を上回った（表4-3）。またその24歳以下の市外の内訳は、その他県内75が.4%と突出して大きくなっている。

表4-3 年齢別交通費の地域別消費割合

	(%)					
	新見市内	市外	高梁市	倉敷市	その他県内	県外
全体 (n=264)	74.4	25.6	1.3	9.1	51.8	37.9
19～24歳 (n=8)	32.4	67.6	0.0	0.0	75.4	24.6
25～29歳 (n=12)	61.5	38.5	0.0	3.3	71.7	25.0
30～34歳 (n=8)	69.9	30.1	0.0	0.0	100.0	0.0
35～39歳 (n=13)	63.6	36.4	0.0	0.0	37.9	62.1
40～44歳 (n=19)	70.3	29.7	0.0	2.0	42.2	55.8
45～49歳 (n=20)	86.3	13.7	0.0	20.9	48.1	31.0
50～54歳 (n=15)	59.1	40.9	3.4	27.4	54.8	14.4
55～59歳 (n=29)	61.8	38.2	4.7	0.0	83.2	12.1
60～64歳 (n=27)	71.2	28.8	0.0	40.5	23.4	36.1
65歳以上 (n=106)	89.7	10.3	0.0	4.9	32.8	62.3
不明 (n=7)	64.7	35.3	0.0	0.0	11.5	88.5

年齢別に美容費の地域別割合をみると、19～29歳において市外が市内を上回っている。一方で、その他の層は市内が多くを占めており、マス層である60歳上は8割以上が市内での消費となっている（表4-4）。19歳～29歳の市外での内訳をみると、その他県内、県外を多く占めている。

表4-4 年齢別美容費の地域別消費割合

	(%)					
	新見市内	市外	高梁市	倉敷市	その他県内	県外
全体 (n=258)	74.8	25.2	0.5	4.3	59.5	35.7
19～24歳 (n=10)	35.7	64.3	0.0	0.0	32.4	67.6
25～29歳 (n=7)	14.1	85.9	0.0	0.6	98.7	0.6
30～34歳 (n=8)	88.1	11.9	0.0	0.0	100.0	0.0
35～39歳 (n=10)	64.8	35.2	0.0	0.0	27.8	72.2
40～44歳 (n=16)	63.4	36.6	0.0	3.3	48.0	48.7
45～49歳 (n=19)	80.2	19.8	0.0	7.3	40.0	52.7
50～54歳 (n=11)	51.5	48.5	1.2	17.7	59.0	22.1
55～59歳 (n=31)	64.5	35.5	2.1	4.6	62.5	30.8
60～64歳 (n=29)	83.3	16.7	0.0	12.2	29.1	58.7
65歳以上 (n=110)	91.7	8.3	0.0	5.4	60.0	34.6
不明 (n=7)	72.6	27.4	0.0	0.0	23.5	76.5

年齢別に医療費の地域別割合をみると、19～24歳、35～39歳、60～64歳の市外割合が高い（表4-5）。またそれらの市外の内訳も高梁市以外に集中している。ただし、19歳～24歳、及び35～39歳のサンプル数は10先に達していない。

表4-5 年齢別医療費の地域別消費割合

	新見市内	市外	高梁市	倉敷市	その他県内	県外
全体 (n=261)	58.7	41.3	17.8	41.3	27.7	13.2
19～24歳 (n=4)	8.3	91.7	0.0	0.0	54.5	45.5
25～29歳 (n=9)	51.5	48.5	27.5	2.4	67.8	2.2
30～34歳 (n=5)	96.2	3.8	100.0	0.0	0.0	0.0
35～39歳 (n=8)	30.0	70.0	0.0	98.4	1.6	0.0
40～44歳 (n=16)	84.7	15.3	0.0	33.3	66.7	0.0
45～49歳 (n=19)	71.3	28.7	0.6	67.4	32.0	0.0
50～54歳 (n=14)	40.2	59.8	25.9	32.3	6.0	35.9
55～59歳 (n=28)	69.8	30.2	18.2	28.4	39.9	13.5
60～64歳 (n=27)	36.6	63.4	15.6	76.3	3.5	4.6
65歳以上 (n=124)	65.7	34.3	22.5	16.2	43.3	18.1
不明 (n=7)	77.6	22.4	0.0	67.5	4.1	28.5

年齢別に被服費の地域別割合をみると、概ね年齢層が上がるにつれて市内の消費割合が上昇している（表4-6）。全体平均を下回ったのは60歳以上のみである。また、市外の内訳をみると、ネット・通販が大きな割合を占めている。

表4-6 年齢別被服費の地域別消費割合

	新見市内	市外	高梁市	倉敷市	その他県内	県外	ネット・通販
全体 (n=258)	27.8	72.2	4.8	16.1	28.5	10.7	39.9
19～24歳 (n=11)	1.0	99.0	3.8	6.5	57.3	3.5	28.9
25～29歳 (n=9)	5.1	94.9	17.0	37.6	11.1	4.9	29.5
30～34歳 (n=7)	5.3	94.7	1.8	16.9	11.5	5.6	64.3
35～39歳 (n=11)	11.5	88.5	4.8	36.5	11.5	7.0	40.2
40～44歳 (n=19)	9.1	90.9	0.8	19.1	31.5	4.7	44.0
45～49歳 (n=18)	20.9	79.1	0.0	25.7	9.8	11.3	53.1
50～54歳 (n=12)	15.8	84.2	3.8	7.7	15.3	5.3	67.9
55～59歳 (n=31)	17.4	82.6	3.4	4.6	27.5	13.8	50.8
60～64歳 (n=28)	38.5	61.5	5.8	20.6	30.3	12.1	31.2
65歳以上 (n=104)	59.0	41.0	11.2	16.0	36.9	20.2	15.8
不明 (n=8)	19.3	80.7	5.6	25.4	37.3	10.6	21.1

年齢別に日用雑貨の地域別割合をみると、19～24歳を除く全ての年齢層で市内消費割合が市外消費割合を上回っている（表4-7）。市外の内訳ををみるとバラバラしているが、概ね、高梁市、倉敷市の割合は若干低くなっている。

表4-7 年齢別日用雑貨の地域別消費割合

(%)

	新見市内	市外	高梁市	倉敷市	その他県内	県外	ネット・通販
全体 (n=259)	67.2	32.8	5.6	8.4	27.8	28.0	30.3
19～24歳 (n=7)	15.8	84.2	6.9	5.7	55.6	28.0	3.8
25～29歳 (n=9)	54.3	45.7	0.0	1.5	6.1	5.9	86.5
30～34歳 (n=8)	67.5	32.5	4.2	2.8	37.8	35.0	20.3
35～39歳 (n=11)	63.5	36.5	8.4	11.3	15.7	23.7	40.9
40～44歳 (n=20)	66.3	33.8	3.0	11.1	60.9	18.5	6.5
45～49歳 (n=18)	80.2	19.8	1.4	21.4	9.5	22.7	45.0
50～54歳 (n=13)	62.3	37.7	11.5	24.3	16.0	31.9	16.3
55～59歳 (n=31)	50.6	49.4	6.5	3.1	26.3	19.0	45.1
60～64歳 (n=26)	73.9	26.1	0.8	12.9	12.9	57.4	16.1
65歳以上 (n=110)	78.3	21.7	7.4	4.7	29.0	38.9	20.1
不明 (n=6)	59.1	40.9	4.2	16.4	29.0	29.6	20.9

年齢別に教育費の地域別割合をみると、30～39歳、60歳以上を除き、市外の消費割合が上回っている。（表4-8）。推測ではあるが、市外の消費割合の高い年齢層は、本人、または子供が学生に区分される可能性の高い年齢層（30～39歳は子供が学童）と考えられる。その前提に立ち、市外の内訳をみると、子供（または本人）の年齢が上がるにつれ、遠距離で教育を受けている傾向がみてとれる。

表4-8 年齢別教育費の地域別消費割合

(%)

	新見市内	市外	高梁市	倉敷市	その他県内	県外	ネット・通販
全体 (n=114)	31.3	68.7	12.0	15.4	48.9	13.9	9.8
19～24歳 (n=4)	7.3	92.7	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
25～29歳 (n=5)	33.3	66.7	0.0	11.3	16.3	0.0	72.5
30～34歳 (n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
35～39歳 (n=5)	78.4	21.6	62.5	0.0	0.0	0.0	37.5
40～44歳 (n=11)	29.0	71.0	41.3	41.3	6.6	1.1	9.8
45～49歳 (n=8)	49.4	50.6	0.0	86.0	0.0	0.0	14.0
50～54歳 (n=6)	18.2	81.8	22.2	0.0	0.0	66.7	11.1
55～59歳 (n=9)	6.9	93.1	0.0	0.0	74.8	22.2	3.0
60～64歳 (n=10)	64.9	35.1	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
65歳以上 (n=51)	69.0	31.0	1.4	4.1	36.4	15.9	42.2
不明 (n=3)	44.5	55.5	8.2	3.3	9.8	29.5	49.2

年齢別に仕送りの地域別割合をみると、45歳を境に市内外の比率が特徴的となっている。(表4-9)。つまり、45歳未満では市内の仕送りが多く、45歳以上ではその他県内、県外への仕送りが多くなっている。

表4-9 年齢別仕送りの地域別消費割合

	(%)						
	新見市内	市外	高梁市	倉敷市	その他県内	県外	国外
全体 (n=73)	41.9	58.1	2.5	4.9	33.4	52.9	6.3
19～24歳 (n=3)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
25～29歳 (n=4)	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
30～34歳 (n=2)	25.0	75.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
35～39歳 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40～44歳 (n=4)	92.9	7.1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
45～49歳 (n=13)	37.4	62.6	0.0	9.6	23.2	67.2	0.0
50～54歳 (n=4)	0.0	100.0	0.0	0.0	19.4	64.5	16.1
55～59歳 (n=8)	14.9	85.1	12.8	0.0	32.0	55.2	0.0
60～64歳 (n=6)	63.7	36.3	0.0	0.0	8.3	91.7	0.0
65歳以上 (n=25)	32.1	67.9	0.0	5.7	62.3	21.7	10.3
不明 (n=3)	26.0	74.0	12.2	27.0	0.0	60.8	0.0

年齢別にその他の地域別割合をみると、55～59歳を除き、全ての年齢層で市内消費が市外消費を上回っている。(表4-10)。一方で、高梁市や倉敷市での消費は少ない。

表4-10 年齢別その他の地域別消費割合

	(%)						
	新見市内	市外	高梁市	倉敷市	その他県内	県外	ネット・通販
全体 (n=113)	71.6	28.4	1.4	3.4	21.8	59.3	14.1
19～24歳 (n=3)	96.8	3.2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
25～29歳 (n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30～34歳 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
35～39歳 (n=2)	79.4	20.6	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
40～44歳 (n=10)	67.7	32.3	0.0	3.5	34.9	21.8	39.7
45～49歳 (n=10)	83.4	16.6	0.0	0.0	0.0	3.3	96.7
50～54歳 (n=6)	70.0	30.0	11.6	29.0	36.2	14.5	8.7
55～59歳 (n=17)	47.3	52.7	0.0	0.5	9.8	84.0	5.7
60～64歳 (n=14)	90.7	9.3	0.0	14.3	52.4	33.3	0.0
65歳以上 (n=46)	82.9	17.1	6.0	7.6	29.9	41.3	15.2
不明 (n=2)	73.3	26.7	0.0	0.0	50.0	30.0	20.0